

一般財団法人

住宅生産振興財団

【トピックス】

- ・「メグリエシティ」、「ココチプレイス学園の森」まちびらきセレモニー
- ・「スターリア・ワールド（印西牧の原）」まちびらきイベント
- ・平成30年7月実施「海外研修」募集のお知らせ

「メグリエシティ（トリヴェール和泉）」 まちびらきセレモニー

平成28年9月号（No.277）本紙で、9月3日より募集開始をお知らせしました「メグリエシティ」（総開発10.4ヘクタール、総戸数404戸）では10月14日（土）に「まちびらきセレモニー」が行われ、ご来賓の和泉市の辻市長をはじめ、多くの方々にお集まりいただきました。

最初に、主催者代表として財団の竹中宣雄理事長より挨拶があり、「メグリエシティ」は、財団が培った技術やノウハウを集結し「多世代共生のまち」をテーマとし、無電柱エリアの設定や「まちづくりガイドライン」の策定で緑豊かなまち、「タウンセキュリティ」導入の防犯に配慮したまち、「メグリエクラブ」の設立によりコミュニティを形成した持続的に管理・運営できるまち、を実現していることを話されました。

ご来賓代表として、和泉市の辻市長のご挨拶があり、安全に配慮した多世代共生のまちとなることが期待できるとのお話をいただきました。

続いて、来賓の方々のご紹介、主催者側の紹介があり、その後来賓の辻市長、UR都市機構西日本支社の小原副支社長、大阪府住宅まちづくり部の山下部長、大阪府和泉警察署の大島署長、大阪

府警察本部生活安全部府民安全対策課の内山課長、和泉市町会連合会の森会長、和泉市立南松尾はつが野学園の中塚学園長、住宅侵入犯罪等抑止対策協議会の大倉代表、NPO大阪府防犯設備士協会の平野理事長、主催者側の財団竹中理事長、積水ハウス関西第一営業本部の遠藤本部長の11名によりテープカットが行われ、まちびらきとなりました。

セレモニーには、「和泉市立南松尾はつが野学園」の吹奏楽部、午後には「桃山学院大学」の吹奏楽部の演奏会などがあり、地元の協力を得たまちびらきイベントとなり、多くの方々、まちなみやモデルハウスを見学され、美しい街並みを実感していただきました。（本間・西口）



テープカットの様子



メグリエシティのまちなみ

メグリエシティ 概要

所在地：大阪府和泉市はつが野5丁目

区画数：404区画

参加メーカー：旭化成ホームズ（株）、住友林業（株）、セキスイハイム近畿（株）、積水ハウス（株）、トヨタホーム（株）、パナホーム（株）、ミサワホーム近畿（株）、三井ホーム（株）、（株）一条工務店、国土建設（株）

「ココチプレイス学園の森(つくば葛城)」 まちびらきセレモニー

平成28年7月号（No.277）、29年3月号（No.279）の本紙で紹介しました「ココチプレイス学園の森」は、10月7日（土）に、まちびらきセレモニーが行われ、ご来賓のつくば市の飯野副市長をはじめ多くの方々にお集まりいただきました。

当財団青木専務理事による主催者代表の挨拶に引き続き、ご来賓代表として、つくば市の飯野副市長からご挨拶をいただきました。

まちびらきのテープカットは、来賓側は飯野副市長、筑波大学の渡准教授、UR都市機構首都圏ニュータウン本部つくば・千葉常磐担当の斎藤推進役、大本組常務執行役員の齊藤営業本部長、近畿日本コンサルタントの武田社長、主催者側は財団青木専務理事、大和ハウス工業つくば支店の石井事業部長、積水ハウスつくば支店の須藤支店長、茨城セキスイハイムの寺内社長、パナホーム茨城支社の三木支社長、スウェーデンハウス千葉支店の鈴木支店長、トヨタホーム茨城の幡谷専務、住友林業つくば支店の燕昇司支店長、ミサワホーム茨城支店の滝澤支店長、旭化成ホームズつくば支店の堰八支店長、茨城中央ホームの堺専務の計16名で行われました。

「五感を刺激する街」をテーマに、筑波山の遠景と隣接地に既存するテラダマツの並木を活かしたまちとなっており、まちの入り口のゲートエリアやクラブハウスを設けております。

環境への配慮では、財団加盟ハウスメーカー10

社の先端の環境技術を活かした、モデルハウスの10区画を対象に、つくば市が新たに設けた「つくば市低炭素街区」認定の第一号を受けました。

緑豊かなコミュニティ溢れるまちとなることを期待しています。（松岡・切貫）



テープカットの様子



ココチプレイス学園の森のまちなみ



ココチプレイス学園の森のまちなみ

ココチプレイス学園の森 概要

所在地：茨城県つくば市学園の森1丁目14番1
ほか

区画数：100区画

参加メーカー：旭化成ホームズ（株）、スウェーデンハウス（株）、住友林業（株）、茨城セキスイハイム（株）、積水ハウス（株）、大和ハウス工業（株）、トヨタホーム茨城（株）、パナホーム（株）、ミサワホーム（株）、茨城中央ホーム（株）

「スターリア・ワールド印西牧の原」 まちびらき

平成29年3月号（No.279）の本紙で紹介しました「千葉ニュータウン印西牧の原」のうち、3-60街区は、まちの名前を「スターリア・ワールド印西牧の原」とし、10月21日（土）に、参加メーカー8社のモデルハウス9棟が完成したお披露目を兼ねてまちびらきイベントを開催いたしました。

3-60街区は完成宅地で、道路や宅地の形状を変えることができないため、まちの特色としては、安心・安全を高めるゲーテッドタウンとしています。街区には建物を外部から守る外周ウォールとフェンス、宅地内に屋外照明を設置し、車の入口も限定しています。ソフト面では、成田空港警備（株）による防犯カメラの導入とパトロール車で1日に不定時間1回の巡回警備を実施しています。これらにより、常に見守られている安心感、不審者の街へ立ち入りの制御効果を期待しています。

また、良好なコミュニティと住環境が維持できるように、外構の施工やまちのルールなどを取り決めたガイドラインを策定し遵守していただくこととしています。

今回のまちびらきをスタートとして、第一工区のモデルハウス9棟を含む建売72棟、建築条件付宅地分譲71区画の募集を開始いたしました。（中臺）



スターリア・ワールド印西牧の原のまちなみ

スターリア・ワールド印西牧の原 概要

所在地：千葉県印西市東の原1丁目2番1ほか

区画数：241区画（第一工区143区画、第二工区98区画）

参加メーカー：スウェーデンハウス（株）、住友林業（株）、積水ハウス（株）、大和ハウス工業（株）、東京セキスイハイム（株）、トヨタホーム（株）、パナホーム（株）、ミサワホーム（株）

〈財団〉平成 30 年度海外研修参加募集

平成 30 年度の海外研修の詳細が決まりましたので、是非ご参加ください。

テーマ：真に豊かな暮らしとは

—米国における伝統的都市型・先進的環境共生型住宅コミュニティと F.L. ライトの住宅建築視察を通して—

シカゴでは、フランク・ロイド・ライトによる住宅建築で有名な「オーク・パーク」地区と、ランドスケープ・アーキテクトとして有名なフレデリック・ロー・オルムステッドによる「リバー・サイド」の二つの伝統的住宅コミュニティ、そしてシカゴの中心部の新たな都市デザイン事情を見学し、都市型、郊外型居住のあり方を実感していただきます。

コロラド州デンバー市では、ピーター・カルソープによる「脱車依存」の環境に配慮した郊外型大規模複合住宅地開発の「ステイブルトン」を、高地トレーニングのメッカとして日本にも馴染みのある大自然に囲まれた「全米で最も暮らしやすい街」同州ボルダー市では、A. デュアニー／E.P. ザイバーク (DPZ) による TND 型郊外住宅地開発「プロスペクト・ニュータウン」を中心に視察し、環境により沿った暮らしのあり方を、都市の成長管理政策の観点を踏まえ実感していただきます。

同行コーディネーターは、佐々木宏幸先生 (明治大学理工学部建築学科准教授、在サンフランシスコのアーバン・デザイン会社 FTS 社日本事務所主宰) です。

視察期間：平成 30 年 7 月 10 日 (火)
～ 16 日 (月・祝) 7 日間

旅行手配：(株) シー・ムーン企画

募集締切：平成 30 年 4 月 28 日 (金)

視察都市等

シカゴ

・「オーク・パーク」

フランク・ロイド・ライトによる住宅建築

・「リバー・サイド」

フレデリック・ロー・オルムステッドによる伝統的住宅コミュニティ

・「中心部の都市デザイン」

デンバー

・「ステイブルトン」

ピーター・カルソープによる「脱車依存」の環境に配慮した郊外型大規模複合住宅地開発

・「ハイランズ・ガーデン・ビレッジ」

ピーター・カルソープによるアフォーダブルな複合住宅開発

・「デンバー市中心市街地活性化」

ボルダー

・「プロスペクト・ニュータウン」

A. デュアニー／E.P. ザイバーク (DPZ) による TND 型郊外住宅地開発

ヒアリング：「ステイブルトン」他 (予定)

お申込み・お問合せ：財団伊代田

※詳細は財団ホームページをご覧ください。

この機会にぜひご参加ください。よろしくお願いいたします。



ステイブルトン

ボンエルフ第 283 号

発行日：平成 29 年 11 月 27 日

編集発行人：青木 徹

発行所 一般財団法人 **住宅生産振興財団**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3 丁目 11 番 15 号 SVAX (スバックス) TT ビル 5 階 TEL: 03-5733-6733 FAX: 03-5733-6736
関西事務所：〒541-0046 大阪市中央区平野町 3 丁目 3 番 8 号 辻梅ビル 5 階 TEL: 06-6231-3655 FAX: 06-6231-3656
ホームページ・<http://www.machinami.or.jp> E-メール・welcome@machinami.or.jp